

銚田市商工会青年部会報

No.36 平成 27 年度版

発行日 平成 28 年 3 月 31 日

編集 銚田市商工会青年部

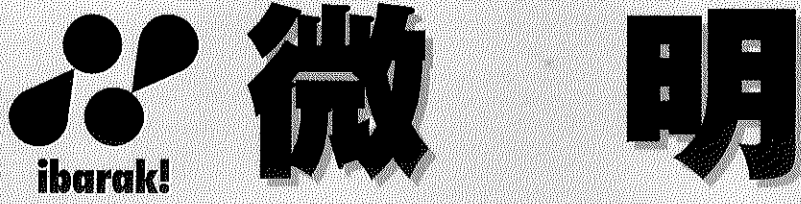
広報委員会

発行者 銚田市商工会青年部

部長 真家 吉貴

銚田市 銚田 2482-1

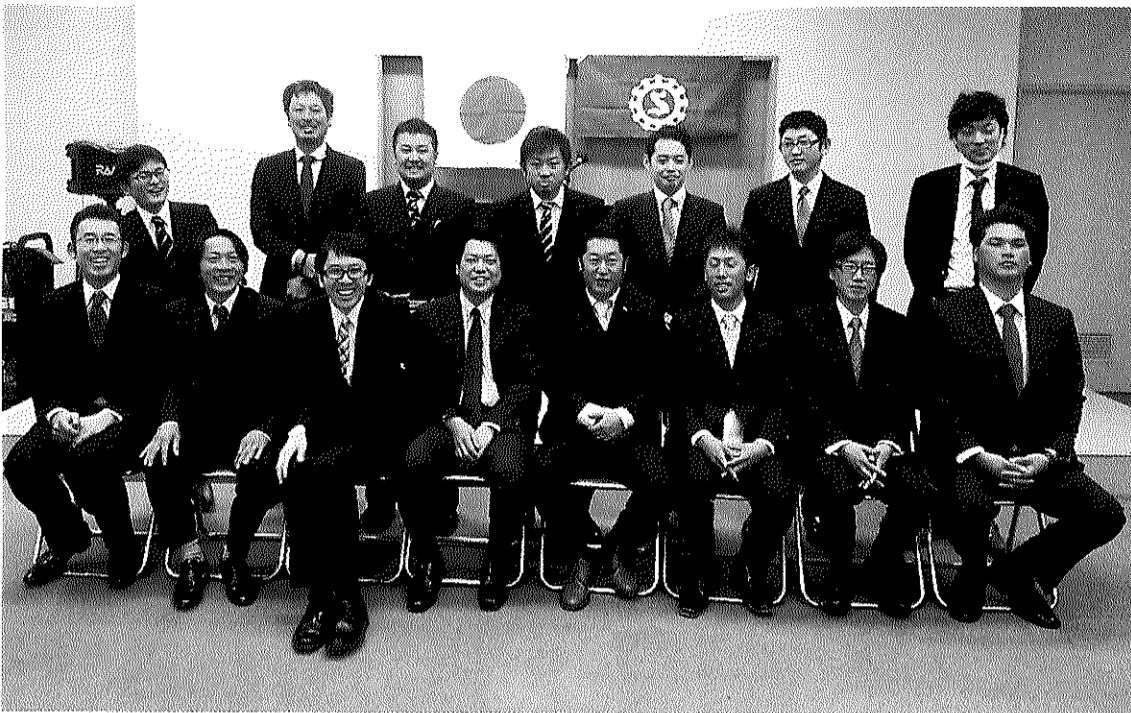
TEL 0291-32-2246



平成二十七年年度
銚田市商工会青年部
通常総会開催

去る平成二十七年四月二十一日(火)午後七時より、銚田市商工会館に於いて、銚田市商工会青年部の平成二十七年通常総会が開催され、平成二十六年度事業報告をはじめ提出された議案は異議なく承認されました。また任期満了に伴う役員

- ◎部長 眞家 吉貴
◎副部長 児嶋 雅人
◎常任委員 山崎 徳一、鈴木 淳、山口 崇、長峰 雄、中島 寿夫、坂口 弦太、飯島 博、菅谷 直樹、澤谷 秀仁、細谷 直樹、大波 拓哉



市長懇談会

鈴木 淳

平成二十八年二月十九日金曜日、銚田市商工会館にて銚田市長との懇談会が行われました。懇談会スタート前の市長との雑談では、毎年恒例?の懇談会でしたので市長が「もう一年たつたんだね、早いね」と和やかな雰囲気の中で始まりました。一つ目はメロンサミットについてでした。

銚田市は現状メロンの生産は減っていて農家さんが薬物の生産に移ってしまったとのことでしたが、「銚田はまだまだメロンNo.1です」とのことでした。今年も銚田でのメロンサミット開催にあたり市だけではなく県の協力ももらい盛大なイベントを開催することでした。二つ目はクライミングウォール(銚田総合運動公園)の活用についてでした。



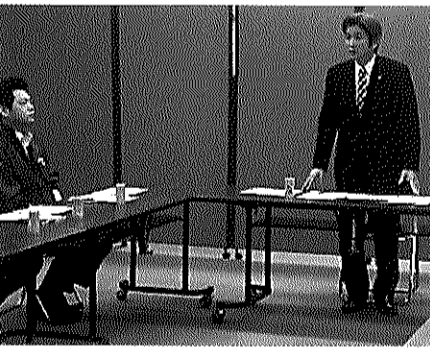
平成二十六年よりクライミングウォールを銚田の小学校では始めており、国体を目指し取り組んで行くとのことでした。市長も実際に体験したこと、「とっても怖かったよ」と笑顔でお話しをされていました。

三つ目は東関東自動車道水戸線の進捗状況及び銚田市への影響についてでした。茨城北から銚田インターまでの区間は平成二十七年開通予定でしたが、用地買収の問題で2年遅れの開通予定になっているとのことでした。

開通すれば企業の雇用が増え、人口減少も減り、観光にも活用できるとのことでした。

また、市民交流館についても部員から活発な意見などもありとても有意義な懇談会となりました。

最後に市長からもありました。私自身、「我々青年部も未来の銚田市の為に率先して街づくり、青年部活動をし、そしてその子供達もまた街づくりをする、そうやって今だけでなく未来を見れる、そんな銚田市民でありたい」と思えとても為になった市長懇談会でした。



微明発刊にあたり

青年部部长
真家 吉貴

初めに、本年も広報委員会の尽力のもと、無事に微明を発刊できましたことについて感謝御礼申し上げます。

これも偏に、荒野吉生商工会長をはじめと致します銚田市商工会員の皆様のご支援とご協力があってこそであり、日頃からサポートいただいております事務局の皆様のお蔭であります。重ねて御礼申し上げます。

さて、昨年九月に発生致しました関東・東北豪雨災害により甚大な被害を受けた常総市を中心とした鬼怒川周辺地域の皆様にとりまして真の復興への道のりはまだまだ道半ばであり、これまでの苦難に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

同じ商工会青年部の仲間が苦境に立たされている中、栗山会長を筆頭に茨城県商工会青年部連合会の指揮の下、私たちが現地に入り、被災地支援をさせていただきます。

想像を絶する光景を目の当たりにして、自分たちの無力さを実感しながらも、被災した仲間たちの復興へ向けた力強い活動に触れ、こちらが勇氣と感動をいただきました。引き続き被災地の皆様に心を寄せて、できる限りの支援をさせていただきますことを考えております。

そして、銚田において十一月二十一日に銚田復興幸グループと共に震災復興と中心地活性化に向けた第6回本物大市とコラボさせていただき、青年部として「銚田にぎわい祭り」を開催させていただきます。私たちは主にお子さんが楽しんでいただけるゲームや丸太切り



当日は酷暑の大竹海岸を舞台に、銚田市内外から十四チームが参戦し、ゴミ拾いから分別までを一つの競技として展開され、参加者の皆様の奮戦のお蔭で、熱気と笑顔が溢れる充実した大会となり、銚田の環境美化へのメッセージを発信できました。

結びに、日々我々の青年部事業を支えてくれている部員の皆様へ心から感謝を申し上げます。

そして、今後とも青年部らしく明るく力強くそして楽しく、大いに学び語り合える取り組みをしていきましょう。

研修旅行

中山 惣夫



郷土料理そば処阿蘇はなびしにて

毎年恒例の青年部研修旅行に総勢十八名で九州の熊本県まで行ってきました。

出発も朝四時半と、かなり早かったので、一名だけ出発時間に起きた人がいましたが、送迎のバスで直接自宅まで迎えに行き、ほぼ予定通り出発できました。

空港までのバスの中は、朝も早かったのですが、ほとんどの人が寝ていましたが、僕たち親睦委員は、寝てはいられません。この時、熊本空港に着いてからの予定が、まったく決まっていなかったんです。どこかいい所はないか必死に携帯で検索しつづけました。

七時に予定通り羽田に着き、八時のフライトで熊本空港に十時頃到着しました。今回の旅行は、観光バスは使わずレンタカー三台を二日間借りての自由な旅です。やと目的の地も決まり、黒川温泉に日帰りの温泉と昼食を兼ねて行くことにしました。場所は阿蘇郡南小国町、阿蘇山の北の方です。運転は、僕他に副部長の山口君と新入部員の白川君が

してくれました。空港を出てしばらく山道を走ると、彩もみじというお店に到着しました。

まずは、昼食です。古民家風の落ち着いた雰囲気のお座敷で、白挽き田舎そばとおいしい馬刺しをいただきました。そのあと貸切の露天風呂に入りました。黒川温泉の高台にあるお店だったので、眺めも最高でした。それから熊本市内のホテルに向かったのですが、途中の高台で記念写真を撮りながら、この時、写真を撮りながら衣服を脱ぎだすおもしろいカメラマンがいました。

ホテルに早く着いたのでチェックインをすませて、それぞれ熊本市内を自由に散策し、それから和食七福神というところで宴会をしました。初めて馬の生レバーをいただきました。とてもおいしく楽しい時間をすごせました。その後は市内見学もかねての二次会三次会もとても楽しかったです。

二日目は全青連顧問の宮本博史さんのいらつしやる阿蘇の宮門前町商店街に向かいました。この商店街には、年間二十八万人の人が訪れるそうです。ホテルを十時出発だったので、かなりゆっくりました。到着したらちようどお昼だったので、宮本さんの経営する郷土料理そば処 阿蘇はなびしで昼食をいただきました。

実はその日は定休日だったので、僕たちのために特別に店をあけてくれました。名物の牛カツ重をいただいたのですが、わさび醤油やおろしで食べる牛カツは、さっぱりしていてとても美味しかったです。その後宮本さんに商店街に人が集まるようになったしくみやこの街がどんな風にかわってきたかなど、貴重な話を聞かせていただきました。街を案内していただきました。とても勉強になりました。はなびしの

前で記念写真を撮り、それから熊本城に行きました。到着したら全然時間がなくて、お城の前で記念写真だけとって、すぐ空港に向かいました。空港に着いて土産を買って、今日も丸一日レンタカーの運転だった山口君と生ビールで乾杯し、飛行機で茨城へ。機内でもやと飲めたお酒がすすみ、楽しかった旅行を振り返りはしゃぎすぎて、後ろの乗客に少し注意されてしまいました。成田空港に着き、バスで鉾田へ。到着したのは十二時頃でした。

今回は、はじめてのレンタカーでの旅行で不安もありましたが、バスとは違って二つの場所を自分たちのペースでじっくり見て回ることができたので、研修旅行に相応しいすばらしい旅ができたと思います。

楽しい旅行ができたのは、参加していただいた皆さんの協力あつてのことです。本当に有難うございました。



熊本空港にて

主張発表大会

本澤 彦治

今年度の主張発表大会の鹿行地区の担当は鉾田。そこで自分に白羽の矢が立たたわけですが、大会に出場したことで自分が商工会青年部でやってきたことを思い返す良い機会になりました。

青年部入部当初は部員としての自覚が全くありませんでした。しかし、自分が担当の青年部の員になるために、徐々に青年部活動に積極的に参加していったことが思い返されました。そして今、鉾田の街づくりに関して熱い思いを持ち続けていられるのも、全ては青年部に参加したのがきっかけであるということを実感しました。

大会に出場したことで終わりではありません。今回の主張が一人でも多くの聴衆の心に届き、鉾田に限らず自分の街というものを考えるきっかけになってくれれば、うれしいと思っております。自分自身も他の人の発表を聞

鹿行キッズサッカー

山口 崇徳



私は今年、鹿行キッズサッカーの鉾田市商工会青年部のまとめ役という大役を仰せつかり、「私にはできないかな」とか「私が担当して何人来てくれるかな」とか「他の単会の皆さんに進行上迷惑かけないかな」と色々悩みましたが、同じ鉾田の中城君にサポートしてもらいな

ら、何とかまとめることができました。大会迄に三回の会議と懇親会があり、三回共に鉾田が一番の出席率で、大会当日も他の単会より

いて感じるものがありました。これからも、周りの意見を取り入れながら、街づくりというものに青年部活動を通じて取り組んでいきたいらと考えています。



できたりして楽しかったです。ある男の子に「おいーサッカー好きか？」と聞いたら「当たり前じゃんーサッカー大好きだし普段はこんな立派な所でできないんだよ」と言われ、そうか、こは鹿島サッカースタジアム!! サッカー少年が憧れている選手が普段プレーしている場所! いわばサッカーの聖地なんだなと思いついた。自分でもない所です。いいお手伝いができているんだなと改めて思いました。

私が担当した鉾田のチームは準優勝。子供達も喜んでいた反面、神栖のチームに負けたことを悔しく思い、涙目になりました。チームメイトと「あそこでこうすれば良かったー」こうしたら周りを

見てバスを出すんだよ」とか話しているのを見て、また来年もこの事業に携わりたいと思えました。今年度は中城君、菅谷君という二本柱のもと、忙しい中参加してくれた真家部長、長年鉾田を担当していた大槻君、昨年度入部した生意気な佐竹君、潮来のくまさん大好き大貫謙三君、渡辺君、田上ブロック長にも来ていただき賑やかにできました。次年度は誰がまとめ役になるかわかりませんが、私もまた参加して子供たち以上に楽しみたいと思います。

私は当日、チームアシスタントという役で鉾田のチームを担当しました。地元ということもあり知っている子もいたり、知らない子でも少し話すと皆と仲良く

鹿行地区野球大会

長峰 雄一



いきなり結果から書きます。一回戦、鹿嶋市商工会青年部にゴールド負け。過去三度の県大会制覇を成し遂げた鉾田市商工会青年部。体どうしたのでしょうか。

今大会は野球未経験者の選手が多かった。かつてはスタメン全員が中学や高校まで野球をやっていた経験者で埋め尽くされていたが、今回、スタメンで出場した経験者はたった五人。これは厳しい。未経験者のポジションにボールが飛んだら自動的にヒット。外野ならツーベースヒットになる。

では、その未経験者たちが足を引く張り、ゴールドゲームになってしまったのか? いえ、実際に足を引く張ったのは、経験者たちなので

先発投手のゴールデンキーはストライクが入らず、ワンアウトも取れないまま四失点で降板。その他の経験者もありえないミスを重ね、極めつけは試合を終わらせた某副部長。平凡なセンターフライにも関わらず、目測を誤りパンサイ。すぐボールを追えばいいのにその場に頭を抱えて倒れこむという経験者にあるまじきプレーで敗戦濃厚な試合に終止符を打った。

三度の県大会制覇。その栄光も過去のものとなりました。来年度からは初心に返り、チャレンジャーの気持ちで大会に臨みたいと思います。



関東・東北豪雨災害について

坂口 弦太

昨年の出来事の中で一番記憶に残っていることと言えば、まだ記憶に新しい九月十日に起った関東・東北豪雨災害ではないでしょうか。発生当日に青年部のLINEに「常総市の鬼怒川決壊現場に支援物資を持って行くので協力お願いします。」との連絡が入った。すぐさまタオルと水といった物を集めました。私は、次の日に銚田の商工会に集められた支援物資を現地の拠点になっている谷田部市商工会に届けました。初日に関わらず茨城の各商工会から集まった物資を初めて会った部員さん達と物資の在庫状況を確認しました。

そうしているうちに自然と仲良くなり話が出来るようになりました。災害支援本部を指揮するのは県青連の栗山会長。現地の青年部の人達と密に連絡を取り合い情報収集、集まった人達を的確に指示してとても心強かったです。私は災害三日目に凄まじい光景を目にすることがなりました。私は、田上プロック長と共に常総市役所の近くにある青年部員の家に物資を届けて片づけの手伝いをしました。通常なら道路があると車を船で行き来している光景を目にしました。標識が隠れる位まで水没して



ていて手に負える状態ではなく家の一階部分は床上2メートル位まで水没して泥だらけ。仕事場では数人がかりでも動かない機械がひっくり返っていてア然としてしまいました。

家で水をまいてデッキブラシで洗うという作業、信じられませんでした。生活道具、服、家電すべてが水没して使いものになりません。自分に置き換えて「もう無理だ」と思いました。しかし当家の人は「起きてしまったことはしかたない。前に進むしかない。」と言っていました。それが今でも心に残っています。銚田の部員は、常総の部員の店とアパートの泥掃除、周辺民家の片づけの手伝いを行いました。川から流れてきた漂流物の量はスゴい量で数人いても一日二日で終わるものではありません。でも青年部の力は計り知れません。ダンプで数台、ユンボ、高圧洗浄機を各事業者が持ち合わせ、一軒一軒片づけていきました。現地の方から「ありがとう」と言っていたことがうれしく記憶に残っています。

最後に私事になりますが、常総市商工会青年部の菊池部長、相山さん、山崎さんは特に現地でお世話になった方々です。心強い仲間でした。そして青年部の絆の強さを実感しました。諸先輩方が築き上げてきた絆やネットワークの強さは計り知れません。仲間の大切さを教わりました。災害という大変な出来事でしたが、これをきっかけに多くの仲間ができたことは自分にとって大きな財産になりました。まだ完全復旧には時間がかかると思いますが、応援していきたいと思っています。がんばって常総。

本物大市

児嶋 剣文

昨年度、初めての開催ながら大成功に終わった「銚田にぎわい祭り」ハロウィンロード。今年度から役員改選となり、年度初めから早くも「その事業を継続するか？」

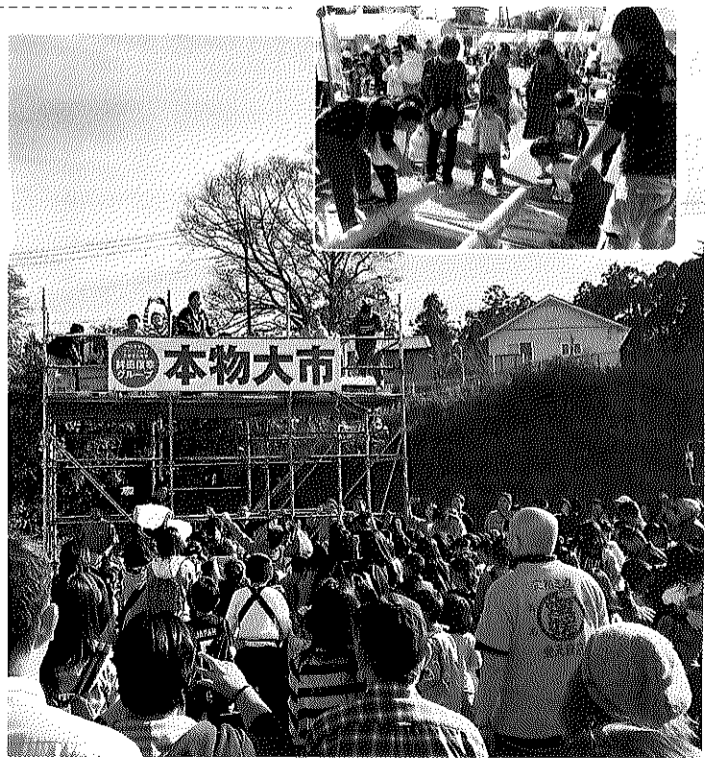
前回はたまたま予定よりも早く撤収開始となったので道路を開けられたが同じように出来るのか？予算はあるか？等々課題は最初から山積みです。しかし部員全体でやはり開催したいという思いが強く自分自身がその実行委員長を務めることになりました。正直、最初は自分に出るのか不安でいっぱいでした。

まずは役員で日程と場所を選定、市役所や他のイベントを避け十一月七日銚田市役所にて開催を決定しました。さあそこに向けて動いていこうと意気込んだ直後でした。その日は人数が集まらない？青年部員は多くが青年会議所、消防団等の団体にも所属しているため、その事業にぶつかってしまうことが判明しました。

とつ返事で「良いよ！やろうやろう！遠慮なくドンドンやってよ」と本当に心良く承諾して頂きました。

ここでようやくスタートラインに立ちました。復幸グループ、また既に合同開催が決まっているひよつとと大会実行委員のみなさんと毎週打ち合わせです。青年部は何やるのか決めてくれ！恒例の餅まきやってよ！青年部のイベントに期待してきています。後から入れてもらって、これは盛り上げないわけにはいかない！というプレッシャーが押し掛かってきました。スタートから出遅れている状況でそれを部員にどう伝え動いてもらうか・・・そんな思いを抱きながらいざ会議にて各委員会ごとに副部長、委員長を中心に役割分担をすると、そんな自分の不安は必要ないというほど、各委員会でドンドン案を出し進めてくれていっています。それぞれ熱い思いをぶつけながら、あれやろうこれやろうと。

そして、平成二十七年十一月二十四日(土)本物大市 銚田市役所職員駐車場にて開催。復幸グループがテント張って出店する約三分の一を青年部にさせて頂き、餅まき、フワフワ、丸太切り体験、お菓子をつかみ取り、各ゲームコーナー、輪投げ、仮装、飲食販売を出しました。特に青年部伝統の餅まきは変わらずの大盛り上がりで、復幸グループやひよつとと大会の皆さんも満足してもらえたかなと思います。イベント全体通しても予想以上の来客で



大成功に終わったと思います。そして何より前準備から、前日のやぐら設置、当日のテント張り、イベント、撤収と部員のみんなの参加人数が多く、テキパキとそして楽しみながら動いてくれたことがその成功につながったと思います。

今の青年部の部員の団結はすごい力だと改めて実感しています。最後に、イベント参加を後からでも快く承諾して頂いた復幸グループ、ひよつとと大会実行委員の皆様、商工会員、女性部、銚田市役所、市内各種関連団体の皆様、ご協力を頂き誠にありがとうございます。また、部長、副部長、各委員会、部員のみなさん、イヤな顔ひとつせず積極的な強い力添え本当にありがとうございます。感謝の言葉しか出ません。自分も今回本当に良い勉強になりました。この経験をまた次につなげるように今後の青年部活動、商工会活動、家業においても頑張っていきたいと思っています。

銚田マラソン

渡辺 拓哉

十二月二十日に第十一回銚田マラソンが開催され、商工会青年部として豚汁の無料配布を行いました。前回からハーフマラソンも行うようになった同大会は今回も多くの参加者で賑わいました。青年部は毎回恒例の豚汁ですが、皆慣れた手つきでドンドン仕込み、走り終えた参加者に出来立ての豚汁を振る舞いました。

年々参加者が増えている銚田マラソンですが、今年度はハーフに八百人を超えるランナーが各地から集まりました。青年部として、一千食を超える豚汁を用意しましたが、すべての参加者に配ることができませんでした。来年度は更なる参加者増加を見越して、すべてのランナーに配布出来るような準備をして臨みたいと思います。最後に参加して頂いた青年部メンバーに感謝します。ありがとうございました。アイラブはこたです。

平成27年度 新入部員紹介



セブンイレブン銚田上釜店
石崎 省吾



(有) 出久根観光
白川 裕司



洋食亭ときわ
石崎 英明



(株) ミヤウチ
佐竹 真之



(株) 荒佐
荒野 修一



銚田カイロプラクテック
伊藤 立



山田工務店
山田 真護



(株) 聖計装
米川 佳祐

うまかつペフェスタ'15

菅谷 秀仁

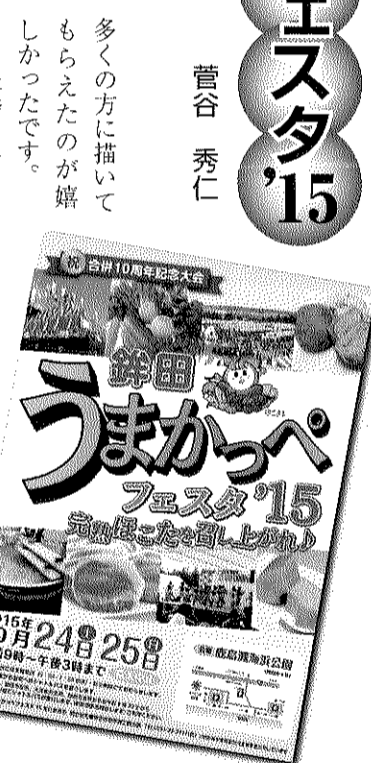
十月二十四、二十五日 うまかつペフェスタ'15 が開催されました。

天気は晴れ！絶好のうまかつペ日和です。開催とともに続々とお客さんが入ってきてお昼には満員になりました。

商工会青年部はテントを2張り分を使い飲食コーナーとほこまる君似顔絵コンテストをやりました。飲食コーナーは鳥の唐揚げ、フライドポテト、カレー焼きそばを作りました。鳥の唐揚げとフライドポテトは揚げて

詰めているうちにすごい速さで売れていき、揚げている人も詰めている人も忙しそうです。カレー焼きそばはというと、なかなか売れ行きが悪いみたいで、初日が終わる頃には、これでは明日全部売り切れることは難しいくらい残ってしまダメだということ、ソース焼きそばに戻したところ、二日目は大盛況に終わり完売だったそうです。後から聞いた話だとカレーが辛すぎたみたいで評判が良くなかったみたいでした。

ほこまる似顔絵コンテストは子供達にほこまる君という銚田の Mascot キャラクターを思い思いに描いてもらい、上位数名に景品が当たるものです。参加していただけた人は1歳くらいから渡辺さん(40歳)まで幅広く、みんなに描いてもらった作品をホワイトボードに飾りました。飾られた絵は、終了時間になるとホワイトボードに収まりきれないほどになりました。



多くのの方に描いてもらったのが嬉しかったです。広報委員会に属している私にとって、前年問題点であったポップ作りなどスミーズに行えたことが良かったと思えました。うまかつペフェスタを通して、みんなそれぞれ準備で時間を作りながら、一つの目標に向かって取り組むことができたことがすばらしいと思えました。



経営革新を受けて

澤幡 雄介

私が経営革新の事業に申し込もうと思ったのは、新しいことをやってみようという思いと、自社の経営状態を第三者に見てもらいたい機会になると思ったからである。漠然とした将来のことへの不安など、色々聞けるいいチャンスだと思いついて受講することにした。

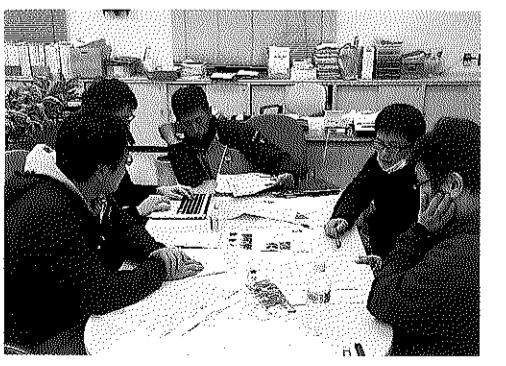
中小企業診断士の先生と話しながら新しく取り組もうとする事業を模索していくなかで、普段、多種多様な業種から相談を受けている先生から自分では考えつかないようなアイデアがポンポンとでてきて、方向性はすぐに決まった。既存の事業の問題点、課題を改善するようなことがテーマになりました。

決まったことに対して、それは、既存の事業とはどういう違いがあつて、それをやるにどういうことが必要で、費用がかかるのか、売り上げはどう変化しそうなのか、いつまでにこれをしなければならぬ、今後の予定を細かく決め、それらの内容を先生と一緒に経営革新計画書にまとめました。

実際に経営革新を受け、今までの自分では考えられなかったことを知る機会になり、実際考えていても、なかなか実行できずにいたことが具現化し、行動に移しやすくなりました。

微明ホームページ掲載について

現在、過去の微明を商工会のホームページで閲覧できるように準備を進めています。商工会に創刊から現在に至るまでの微明が保管されていますが、8号と17号が紛失しています。お持ちの方がいらつしやいましたら、事務局までご連絡下さい。



編集後記

毎年広報委員の集大成の「微明」。毎年、部員の方々に原稿を書きやプリントアウトをして、「紙」ベースで印刷会社にお願いを発行しております。今年度はデータで行い、原稿修正などいち早く行い、印刷会社とのやりとりもスムーズになりました。ちよつとだけ楽できるよになりました(笑)

求む!!
新入部員
私達と青年部活動をしてみませんか
銚田市商工会青年部
ibarak!